



2009年3月期 第3四半期決算説明会

2009年2月5日

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。



Agenda

I . 2009年3月期 第3四半期の概況

II . 2009年3月期の見通し

III . 今後の見通しと対策

IV . 参考データ

2009年3月期 第3四半期 連結売上高・損益

単位:億円	08年3月期		09年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	2,664	7,122	2,136	7,007	▲528	▲115
営業利益 <small>売上高比</small>	402 15.1%	1,035 14.5%	8 0.4%	548 7.8%	▲394	▲487
経常利益 <small>売上高比</small>	393 14.8%	981 13.8%	1 0.0%	532 7.6%	▲392	▲449
当期純利益 <small>売上高比</small>	260 9.8%	605 8.5%	▲23 -%	313 4.5%	▲283	▲292
USドル	113円	117円	96円	103円	売上高への影響額 ▲350億円 ▲590億円	
ユーロ	164円	163円	127円	151円	営業利益への影響額 ▲210億円 ▲330億円	

世界的な景気後退に加え急速な円高の進行により、3Qは前3Q比減収減益

* スライドで使用している数値はすべて億円未満は四捨五入してあります。

2009年3月期 第3四半期 精機カンパニー

	08年3月期		09年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	697億円	2,101億円	410億円	1,582億円	▲287	▲519
営業利益 <small>売上高比</small>	71億円 10.2%	284億円 13.5%	▲35億円 -%	86億円 5.4%	▲106	▲198
半導体露光装置 新品/中古	36/3台	104/13台	8/4台	40/14台	▲28/+1	▲64/+1
液晶露光装置	7台	31台	11台	48台	+4	+17

前3Q比、液晶露光装置は増加したものの、半導体向け設備投資の抑制が加速し半導体露光装置が大幅に減少。 3Qは精機全体で赤字。

2009年3月期 第3四半期 映像カンパニー

	08年3月期		09年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	1,773億円	4,476億円	1,569億円	4,941億円	▲204	+465
営業利益 <small>売上高比</small>	307億円 17.3%	695億円 15.5%	40億円 2.5%	460億円 9.3%	▲267	▲235
デジタル一眼レフ カメラ	85万台	232万台	105万台	292万台	+20	+60
交換レンズ	120万台	340万台	142万台	405万台	+22	+65
コンパクト デジタルカメラ	270万台	673万台	279万台	870万台	+9	+197

3Qは、世界的な景気後退に伴う競争激化や一眼レフ高級機種低調にも拘らず、前3Q比数量増。現地通貨ベースでは前3Q比増収を達成。しかし平均単価の下落に加え円高の急速な進行が大きく影響し、前3Q比減収減益

2009年3月期 第3四半期 インストルメンツカンパニー

	08年3月期		09年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	147億円	409億円	110億円	342億円	▲37	▲67
営業利益 <small>売上高比</small>	8億円 5.4%	18億円 4.4%	▲6億円 -%	▲18億円 -%	▲14	▲36

ライブセル観察用の高付加価値製品が堅調で生物顕微鏡は健闘したが、半導体・自動車・電子部品業界の設備投資抑制により産業機器部門はかつてないほどの不振

2009年3月期 第3四半期 その他事業

	08年3月期		09年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	46億円	135億円	46億円	142億円	-	+7
営業利益 <small>売上高比</small>	16億円 34.8%	40億円 29.6%	8億円 17.4%	23億円 16.2%	▲8	▲17

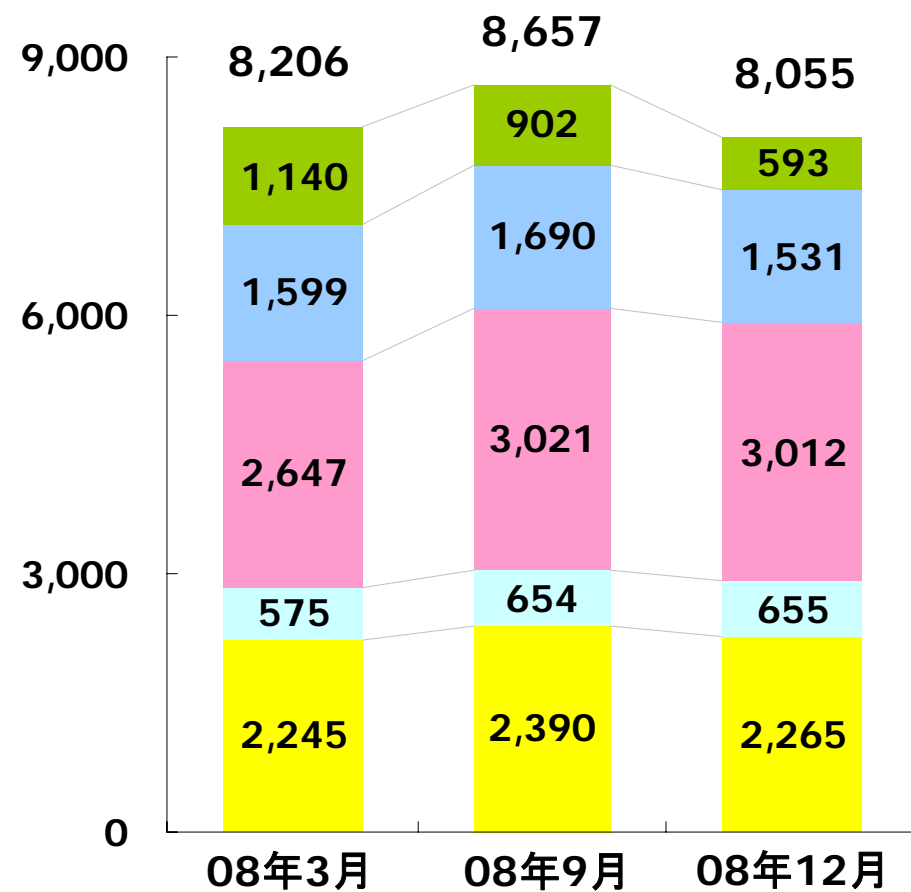
3Qの売上高は、上期(96億円)と変わらぬペース

2009年3月期 第3四半期 B/S内訳

資産

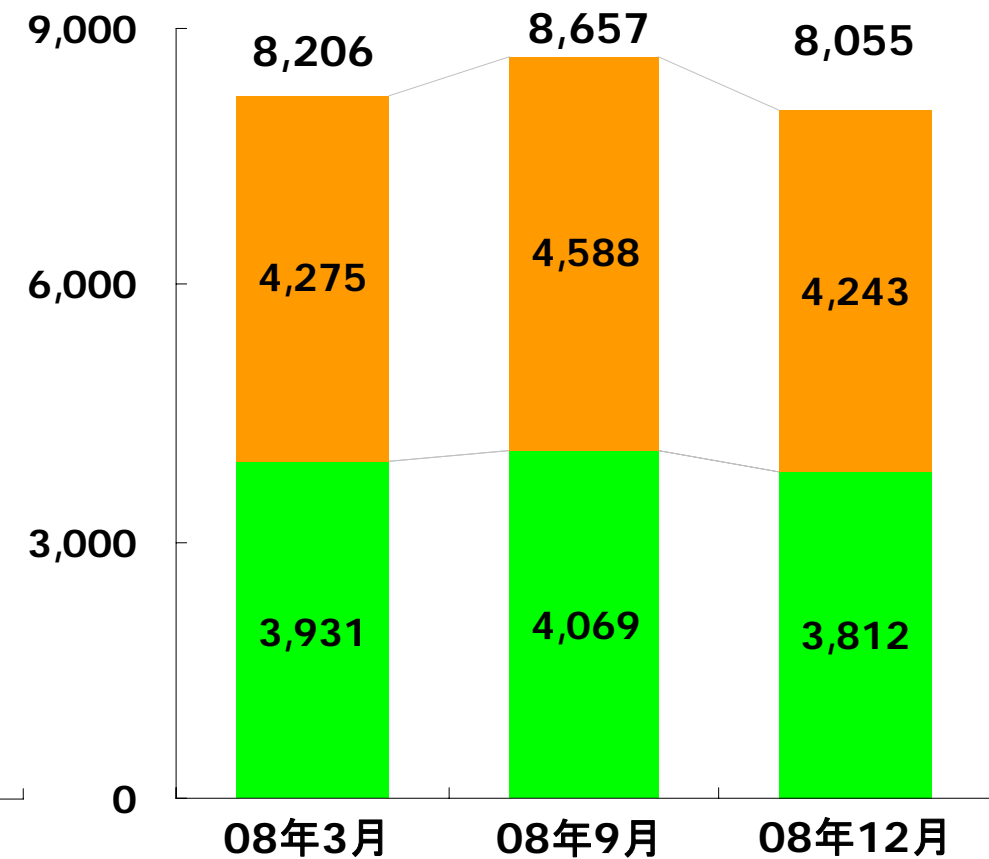
負債・純資産

単位:億円



■ 現預金 ■ 売上債権 ■ たな卸資産
■ その他流動資産 ■ 固定資産

単位:億円



■ 純資産合計 ■ 負債合計 ◆ 自己資本比率

2009年3月期 第3四半期 まとめ

- ◆世界的な景気後退と急速な円高の進行により、3Q・3Q累計ともに前年同期比で減収減益
 - ・「精機」は、液晶露光装置が回復するも半導体露光装置がArFドライを筆頭に前3Q比で大幅な台数減少
 - ・「映像」は、悪環境下にも拘らず前3Q比で数量増・現地通貨ベース売上増を達成するも、平均単価の低下に加え円高が直撃

- ◆株安による有価証券評価損計上により、5年ぶりの四半期当期純利益赤字(3Q累計は黒字)

- ◆在庫が増加しているが、コントロール可能な範囲
 - ・「精機」は大型新製品の仕込み時期で、予想の範囲内
 - ・「映像」は予定を上回ることは事実だが、期末には適正化可能



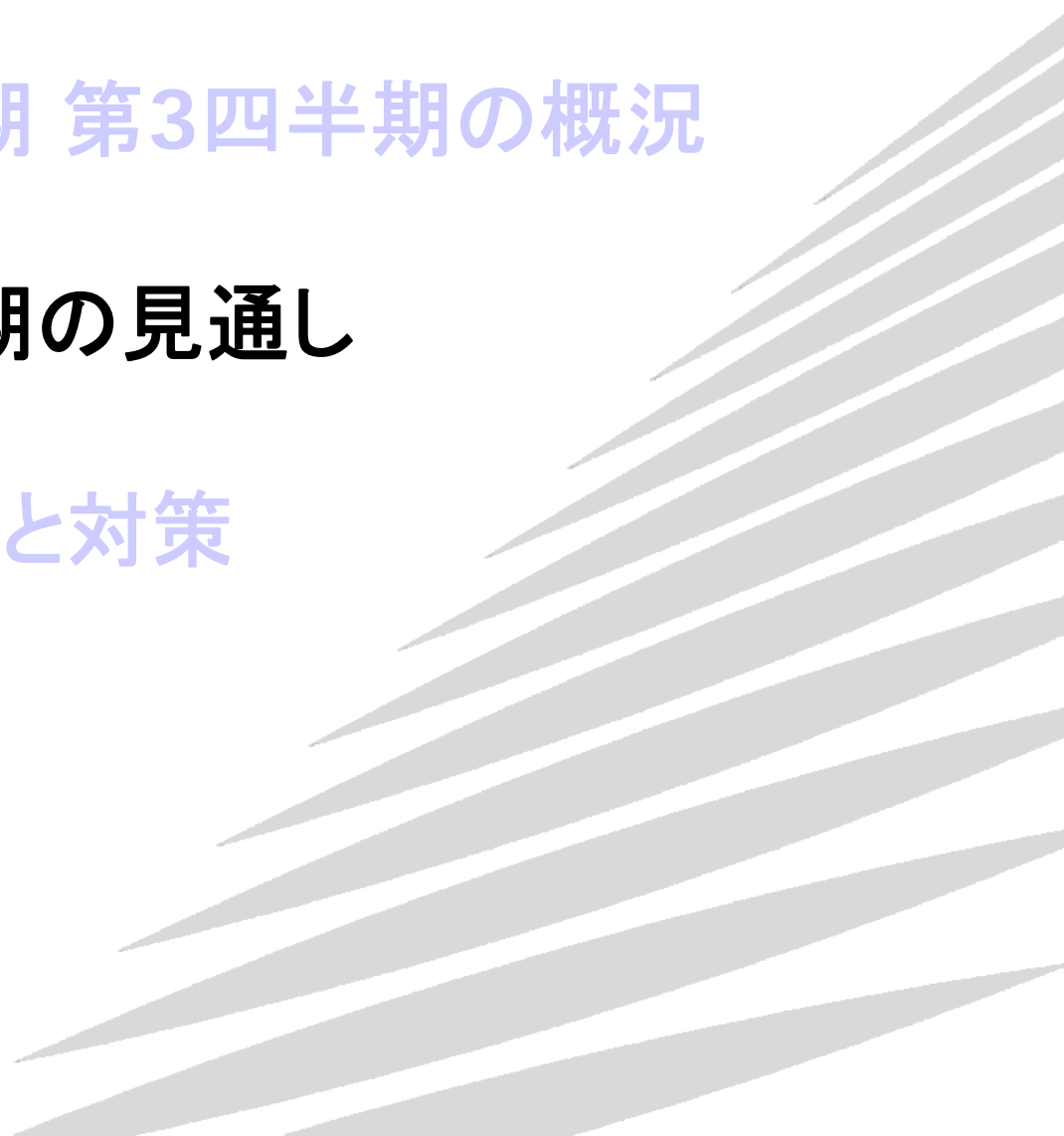
Agenda

I . 2009年3月期 第3四半期の概況

II . 2009年3月期の見通し

III . 今後の見通しと対策

IV . 参考データ



2009年3月期見通し 連結売上高・損益

単位: 億円	08年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (11/6)	上期 下期	09年3月期 見通し	上期 下期	前回 予想比	前年 実績比
売上高	9,558	<u>4,458</u> 5,100	9,400	<u>4,871</u> 4,529	8,600	<u>4,871</u> 3,729	▲800	▲958
営業利益 <small>売上高比</small>	1,352 14.1%	<u>633</u> 719	820 8.7%	<u>541</u> 279	440 5.1%	<u>541</u> ▲101	▲380	▲912
経常利益 <small>売上高比</small>	1,201 12.6%	<u>589</u> 612	790 8.4%	<u>531</u> 259	420 4.9%	<u>531</u> ▲111	▲370	▲781
当期純利益 <small>売上高比</small>	755 7.9%	<u>344</u> 411	470 5.0%	<u>336</u> 134	240 2.8%	<u>336</u> ▲96	▲230	▲515
為替:ドル (円) ユーロ	114円 162円		101円 144円		100円 142円			

短期的な景気回復・円高是正は期待できず、「映像」では更なる生産調整を実施。通期予想を下方修正。

第4四半期の為替前提はドル90円、ユーロ115円(前回予想比各▲5円、▲10円)

* 前回予想とは2008年11月6日発表における予想です。

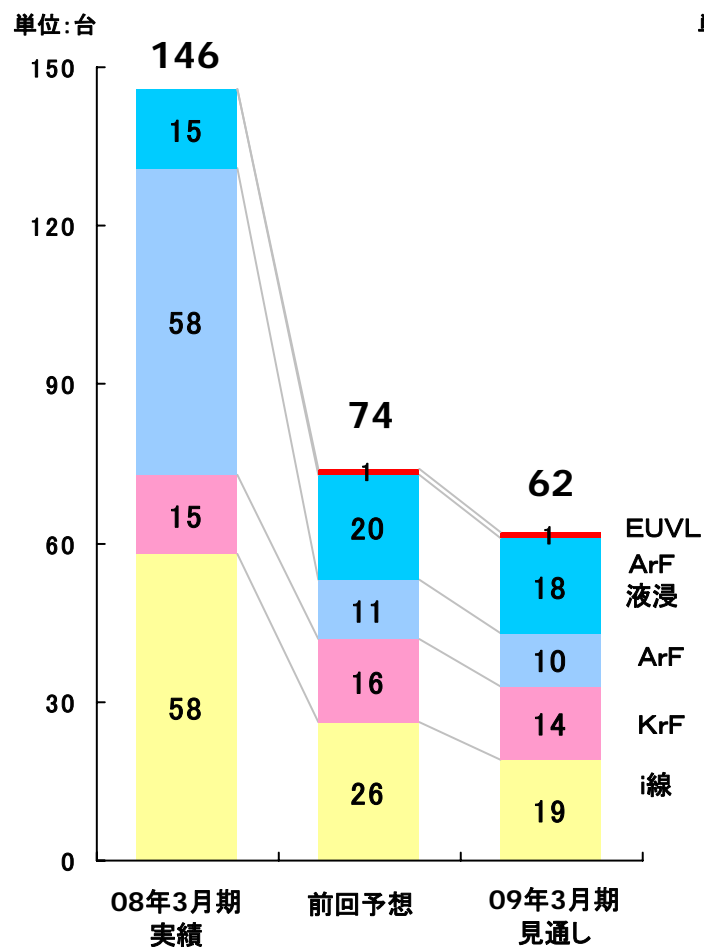
2009年3月期見通し 精機カンパニー

	08年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/6)	上期 下期	09年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	2,908億円	$\frac{2,101}{807}$	2,450億円	$\frac{1,172}{1,278}$	2,300億円	$\frac{1,582}{718}$
営業利益 <small>売上高比</small>	433億円 <small>14.9%</small>	$\frac{284}{149}$	180億円 <small>7.3%</small>	$\frac{122}{58}$	110億円 <small>4.8%</small>	$\frac{86}{24}$
半導体露光装置 新品/中古	146/18台	$\frac{104/13}{42/5}$	74/20台	$\frac{32/10}{42/10}$	62/18台	$\frac{40/14}{22/4}$
液晶露光装置	45台	$\frac{31}{14}$	65台	$\frac{37}{28}$	65台	$\frac{48}{17}$
半導体露光装置 市場規模CY07/08	564台		300台程度		296台	
液晶露光装置 市場規模CY07/08 (カラーフィルター用を除く)	70台程度		100台程度		100台程度	

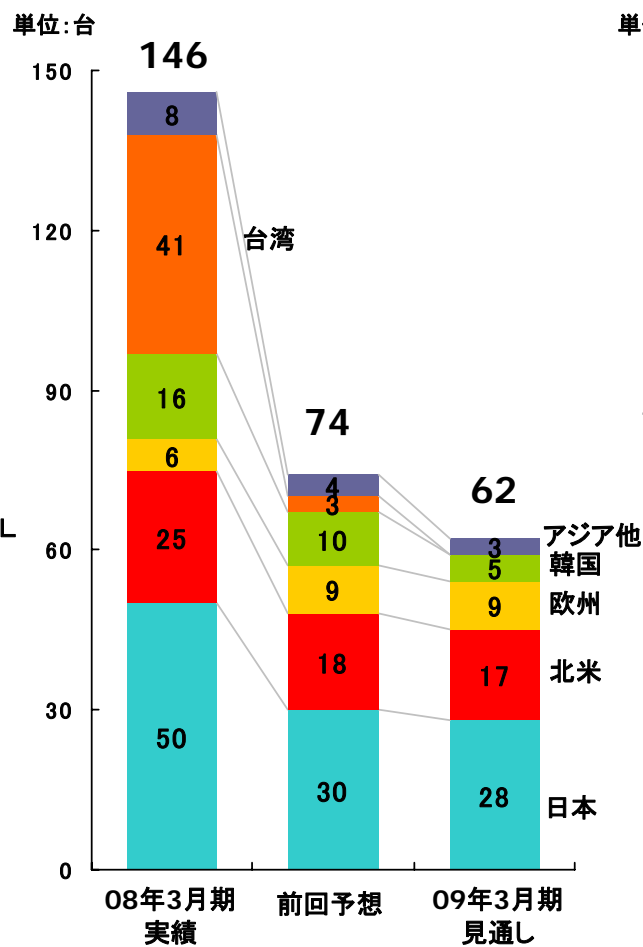
半導体露光装置の販売台数見通しを、12台下方修正し62台に。液晶露光装置は台数据え置きなるも大型機の割合が減る。この結果、売上・利益ともに下方修正。

2009年3月期見通し 精機カンパニー

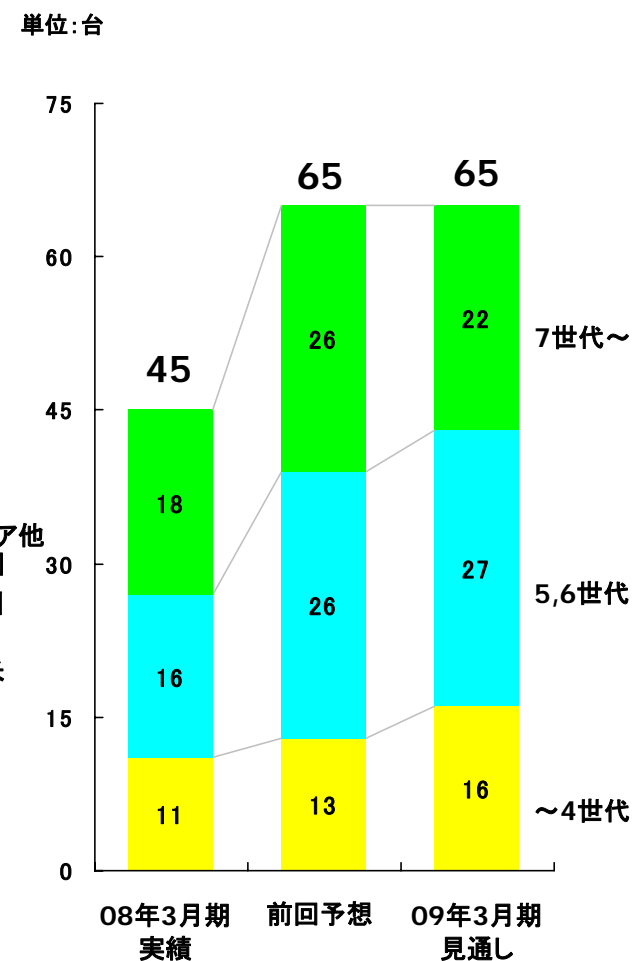
半導体露光装置 光源別販売台数



半導体露光装置 地域別販売台数



液晶露光装置 世代別販売台数



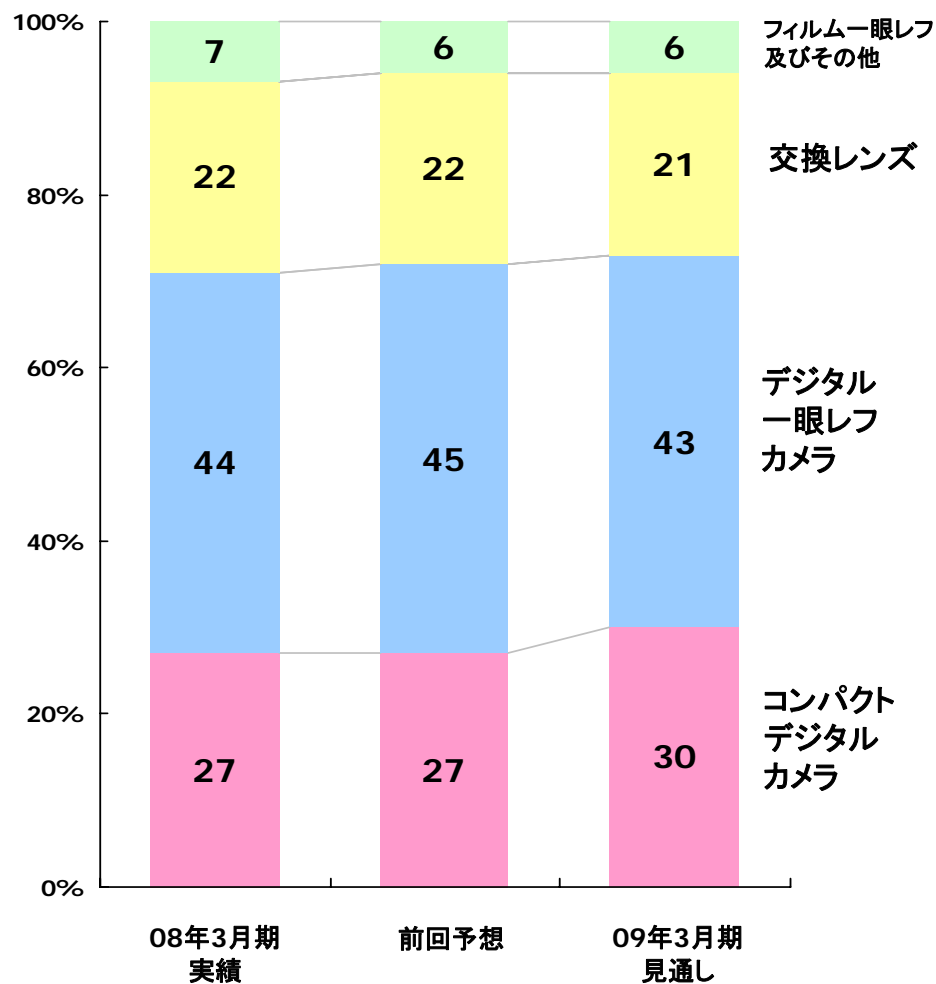
2009年3月期見通し 映像カンパニー

	08年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/6)	上期 下期	09年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	5,861億円	<u>4,476</u> 1,385	6,250億円	<u>3,372</u> 2,878	5,700億円	<u>4,941</u> 759
営業利益 <small>売上高比</small>	840億円 14.3%	<u>695</u> 145	620億円 9.9%	<u>420</u> 200	350億円 6.1%	<u>460</u> ▲110
デジタル一眼レフ カメラ	309万台	<u>232</u> 77	350万台	<u>187</u> 163	330万台	<u>292</u> 38
交換レンズ	445万本	<u>340</u> 105	490万本	<u>263</u> 227	460万本	<u>405</u> 55
コンパクトデジタル カメラ	855万台	<u>673</u> 182	1,000万台	<u>591</u> 409	1,000万台	<u>870</u> 130
デジタル一眼レフ カメラ市場規模	772万台		950万台		950万台	
交換レンズ市場規模	1,307万本		1,600万本		1,600万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	9,857万台		11,500万台		11,000万台	

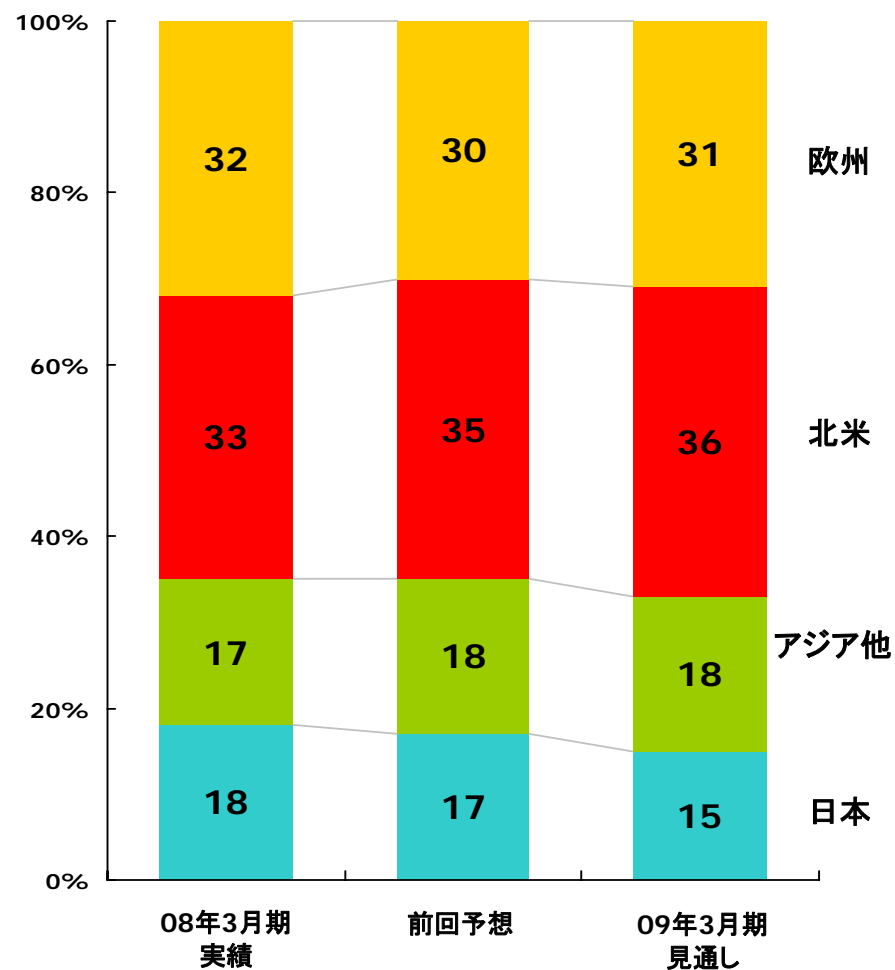
市場環境悪化・一眼レフ高級機種スローダウンなどにより、4Qは前4Q比で大幅減収の予想。生産調整による原価率悪化が加わり赤字に。大きな下方修正。

2009年3月期見通し 映像カンパニー

出荷金額の製品別構成比



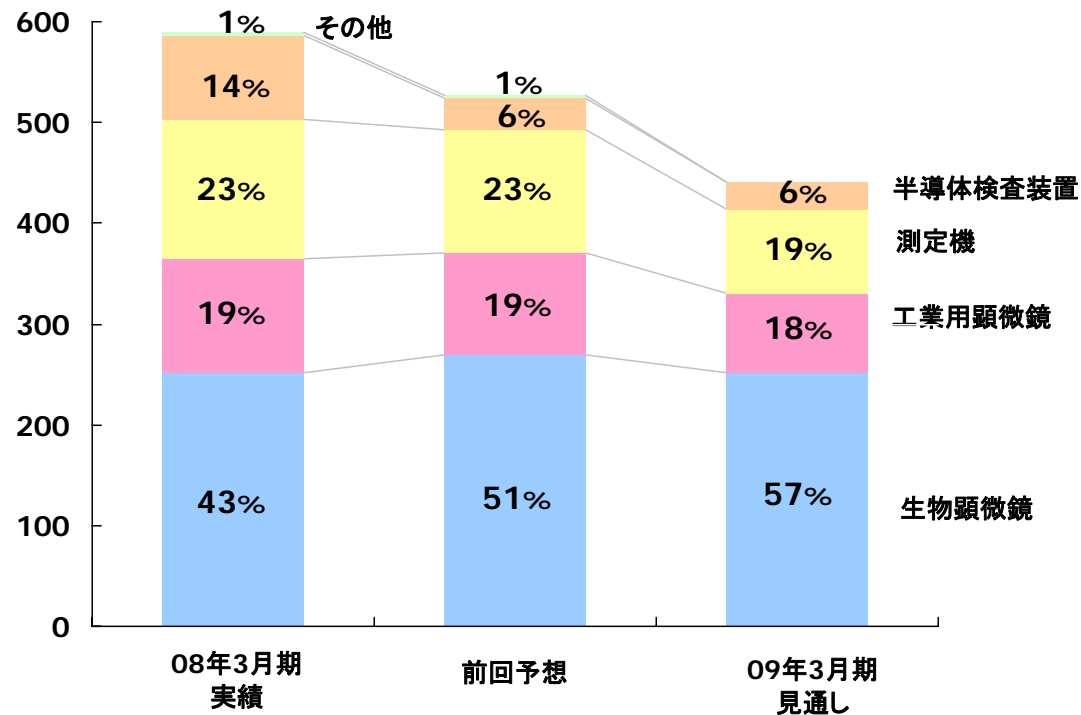
出荷金額の地域別構成比



2009年3月期見通し インストルメンツカンパニー

	08年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/6)	上期 下期	09年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	590億円	<u>409</u> 181	520億円	<u>232</u> 288	440億円	<u>342</u> 98
営業利益 <small>売上高比</small>	41億円 6.9%	<u>18</u> 23	0億円 -%	<u>▲13</u> 13	▲30億円 -%	<u>▲18</u> ▲12

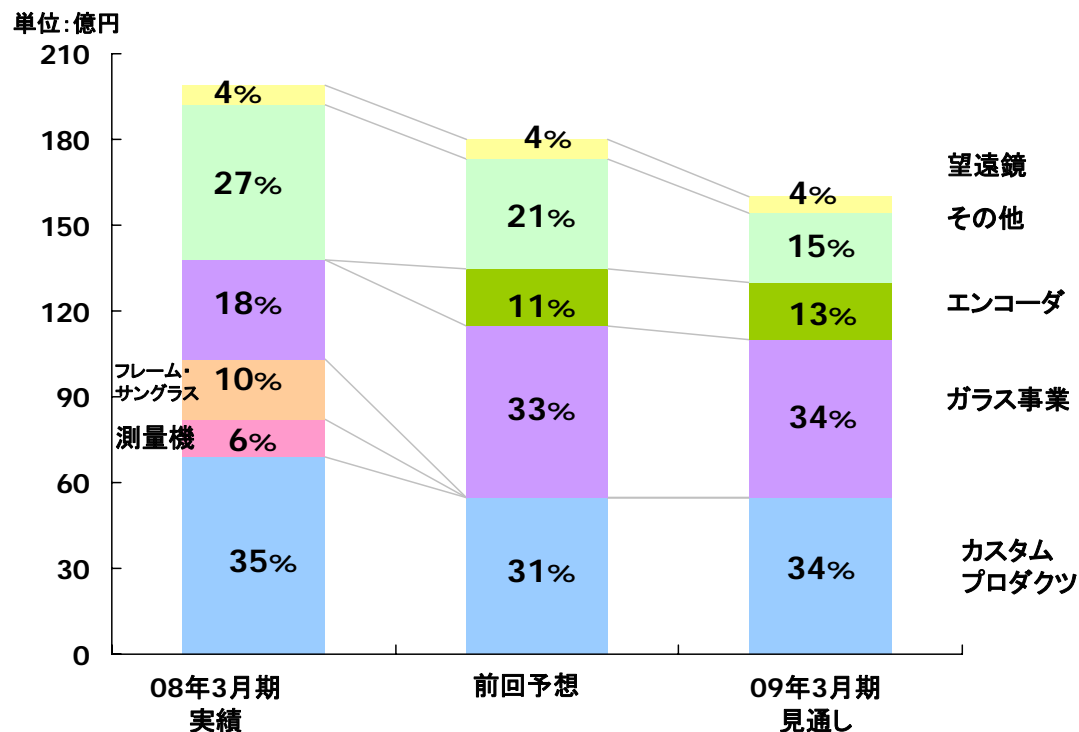
単位:億円



生物顕微鏡は堅調な売上を見込むが、産業機器は投資抑制の影響で前回予想から更に厳しい見通し

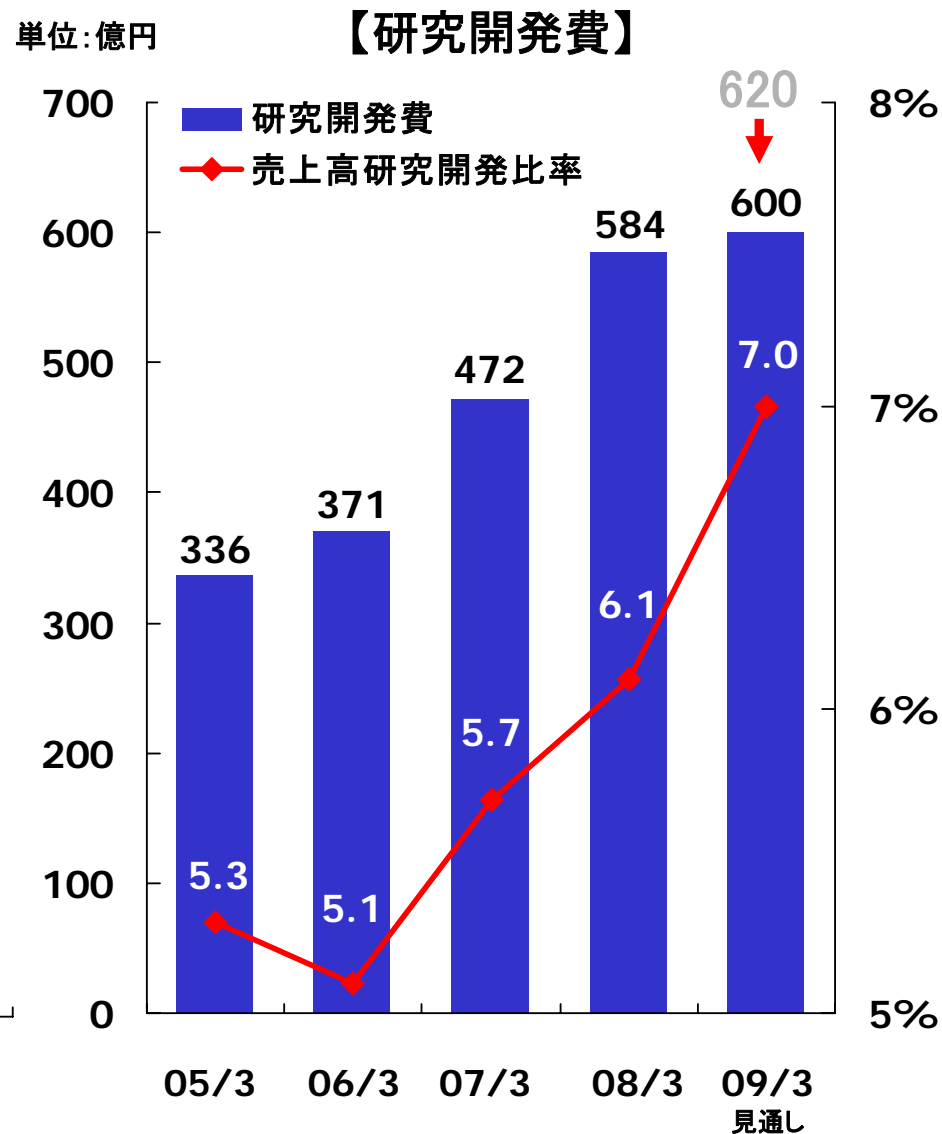
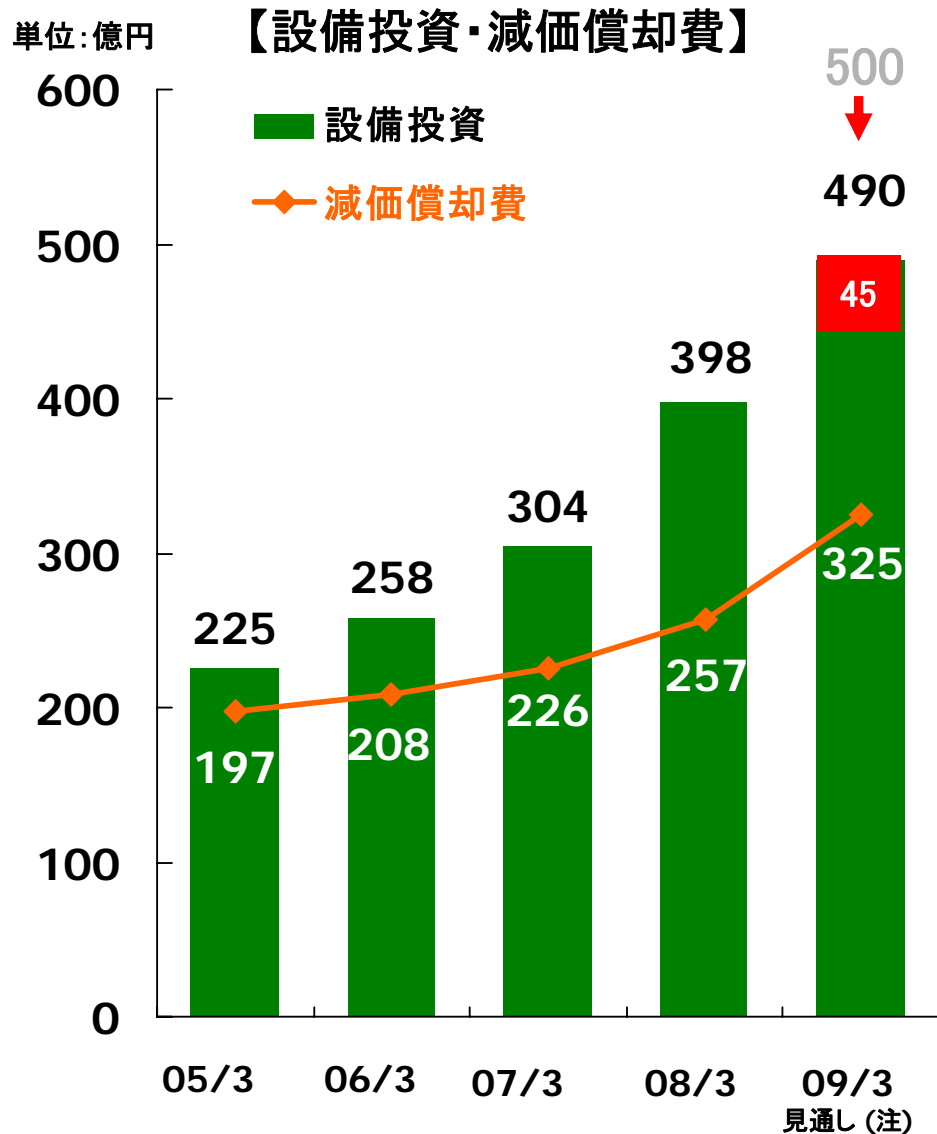
2009年3月期見通し その他事業

	08年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/6)	上期 下期	09年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	198億円	$\frac{135}{63}$	180億円	$\frac{96}{84}$	160億円	$\frac{142}{18}$
営業利益 売上高比	36億円 18.2%	$\frac{40}{\blacktriangle 4}$	20億円 11.1%	$\frac{15}{5}$	10億円 6.3%	$\frac{23}{\blacktriangle 13}$



ガラス事業の液晶フォトマスク
基板が売上を拡大。
第7、第8世代向けの販売が堅調

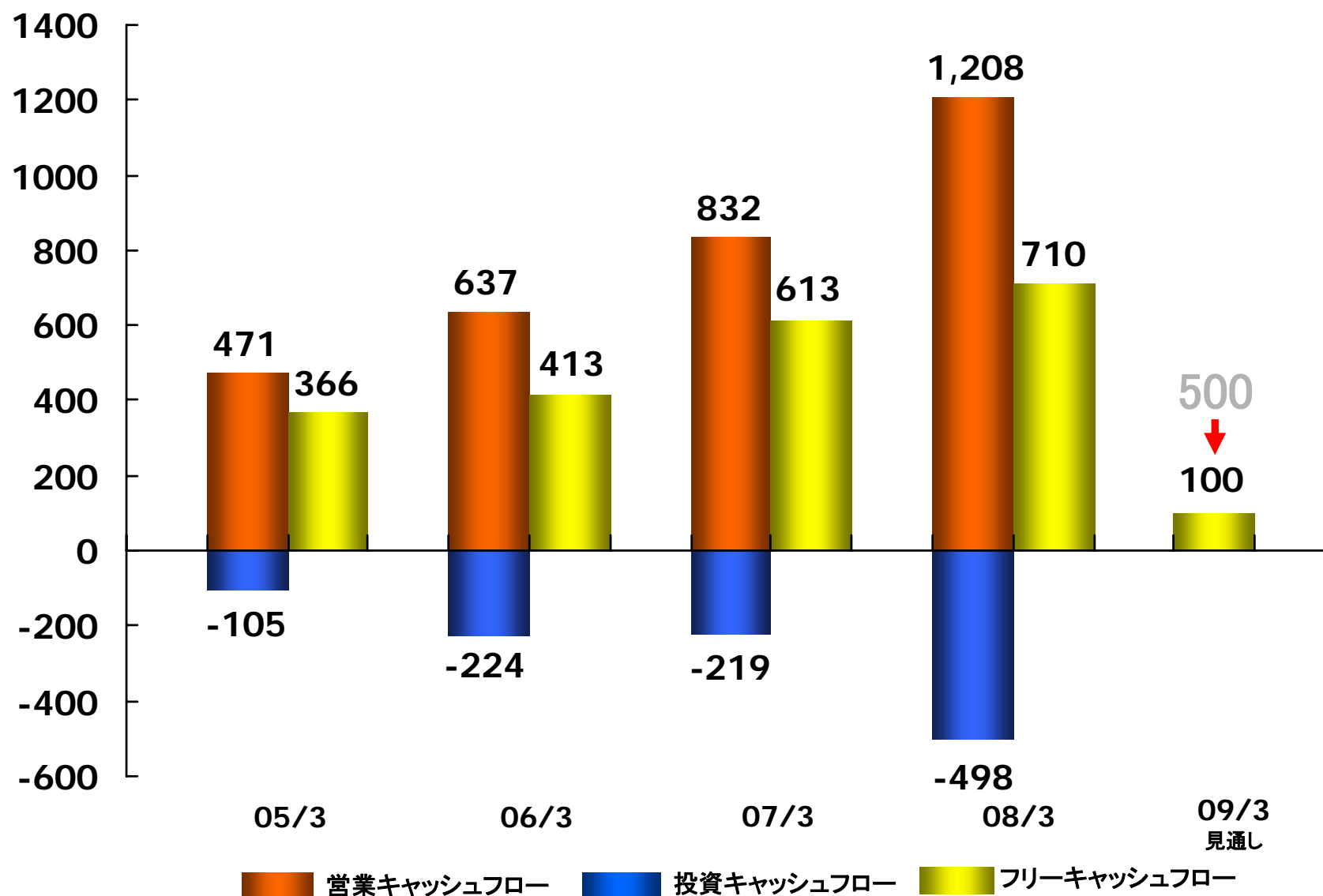
2009年3月期見通し



注) 09/3見通しには、リース会計基準の変更に伴うリース資産の取得額を含む。設備投資45億円、減価償却費25億円

2009年3月期見通し キャッシュフロー

単位: 億円





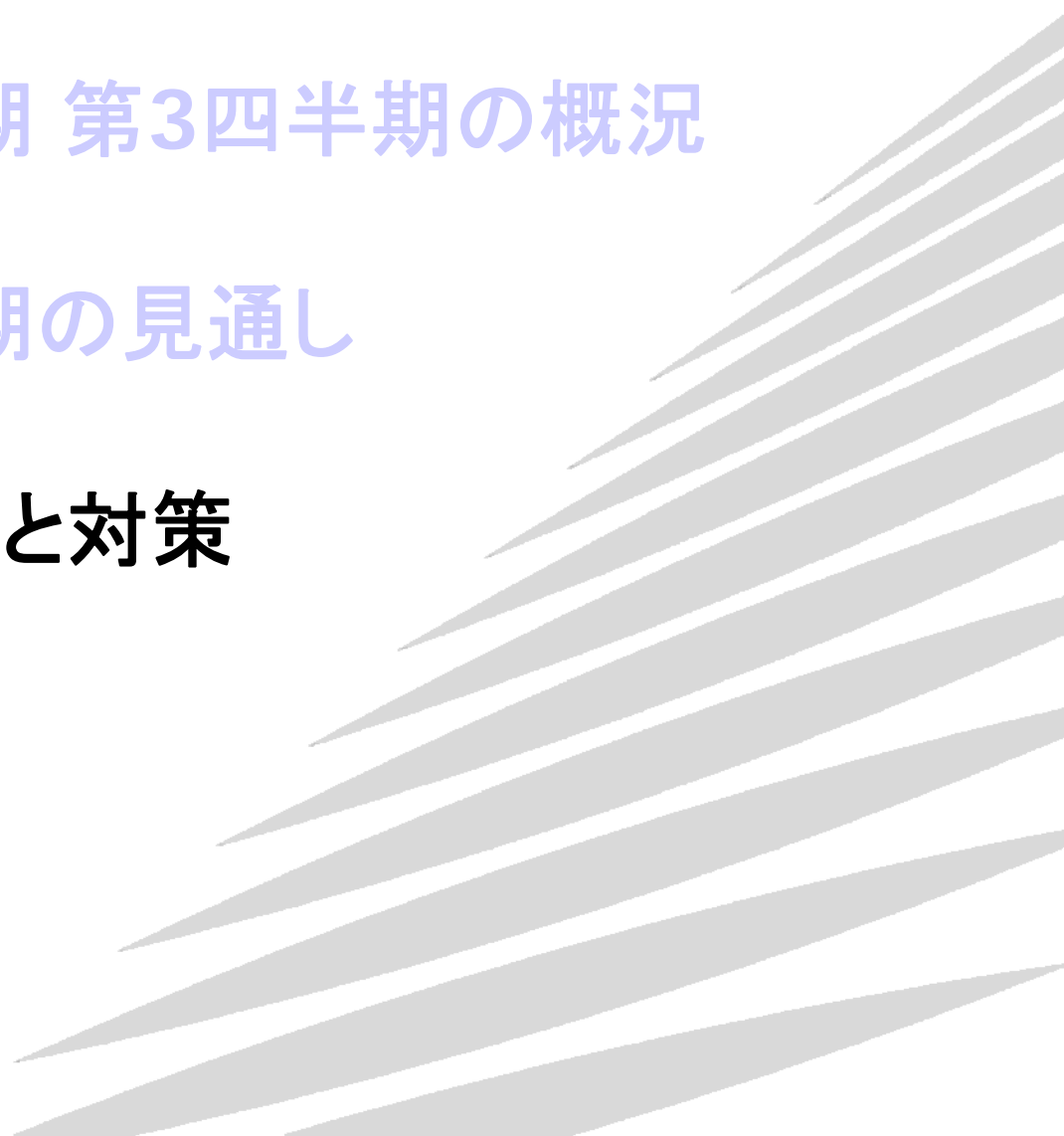
Agenda

I . 2009年3月期 第3四半期の概況

II . 2009年3月期の見通し

III . 今後の見通しと対策

IV . 参考データ



今後の見通しと対策

◆短期的な景気回復・円高是正は期待できず、「荒天」は続く。
通期見通しを下方修正。
落込みを抑えながら、回復のときに直ちにダッシュできるよう
備える。

◆緊急経営対策として

- ・役員・管理職の月例報酬減額（賞与は既に業績連動実施済）
- ・設備投資の延期・減額・取り止め
- ・社外流出分を中心とする経費の削減強化
- ・海外・国内工場で一時的帰休・人員削減を含む生産調整の実施

今後の見通しと対策

◆かかる時期こそ、顧客の「期待を超える」製品・サービスを提案することが重要

【精機】

- ・ダブルパターンニング対応次世代液浸露光装置を目標どおりに完遂
- ・KrF・i 線装置やサービスビジネスの高度化と、新分野の開発

【映像】

- ・一層の円高を克服しうる事業構造の構築
- ・次世代デジタルカメラの開発と、新規サービスの提案

【インストルメンツ】

- ・バイオおよび産業機器、両分野で注力すべきセグメントを明確化し、新規開発を強化
- ・人的効率化の推進



Agenda

I . 2009年3月期 第3四半期の概況

II . 2009年3月期の見通し

III . 今後の見通しと対策

IV . 参考データ



参考データ 為替の影響

2009年3月期
見通し

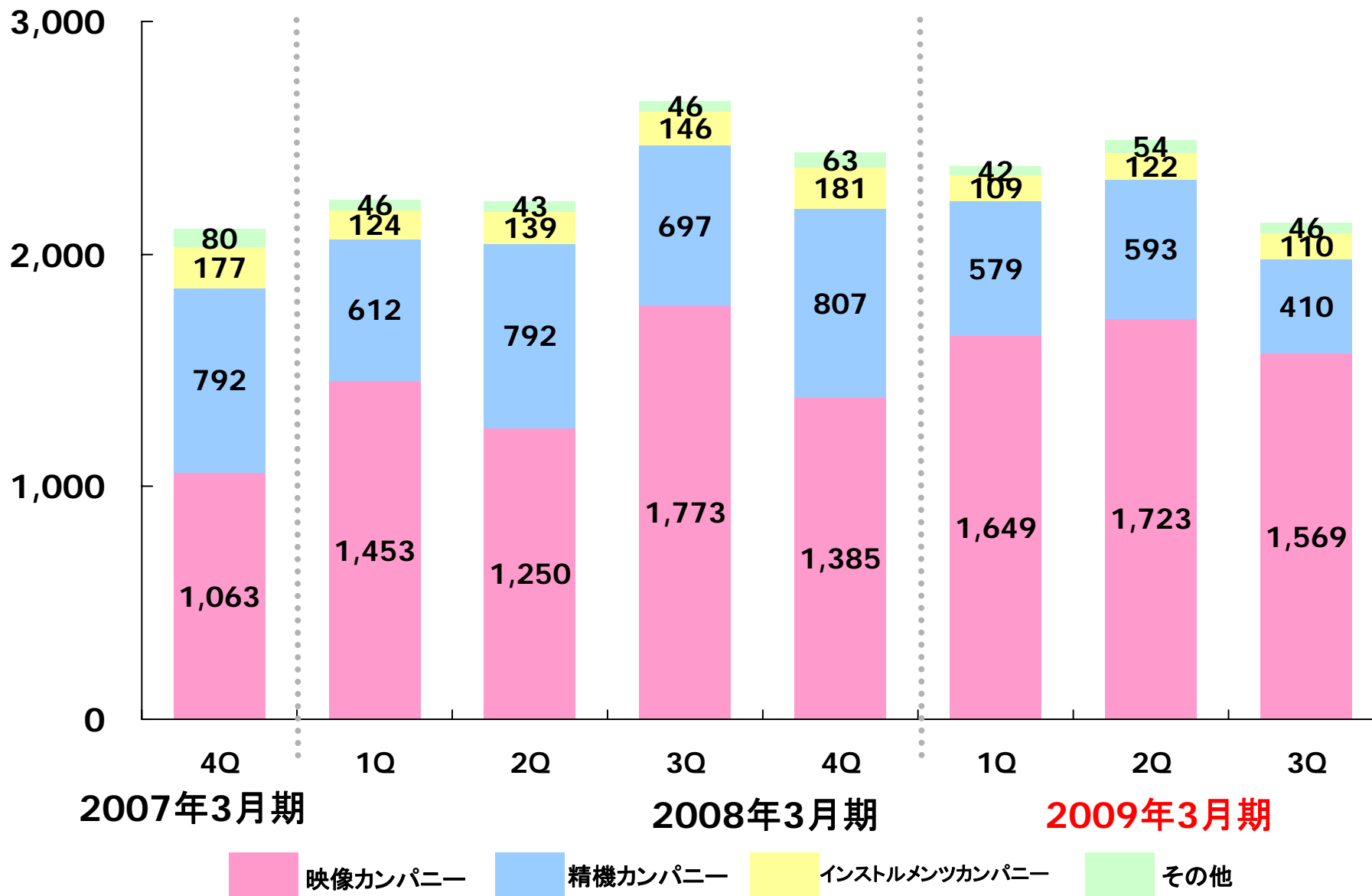
	為替レート	1円の変動による影響額	
	09年3月期 4Q前提	売上高 (4Q)	営業利益 (4Q)
USドル	90 円	約 6 億円	約 2 億円
ユーロ	115 円	約 3 億円	約 1.5 億円

参考データ 2009年3月期業績見通し

単位：億円		08年3月期 実績		09年3月期 見通し	
営業利益	上期	1,352	633	440	541
	下期		719		▲101
営業外収益		82		100	
営業外費用		232		120	
経常利益	上期	1,201	589	420	531
	下期		612		▲111
特別損益		▲34		▲50	
法人税等		412		130	
当期純利益	上期	755	344	240	336
	下期		411		▲96

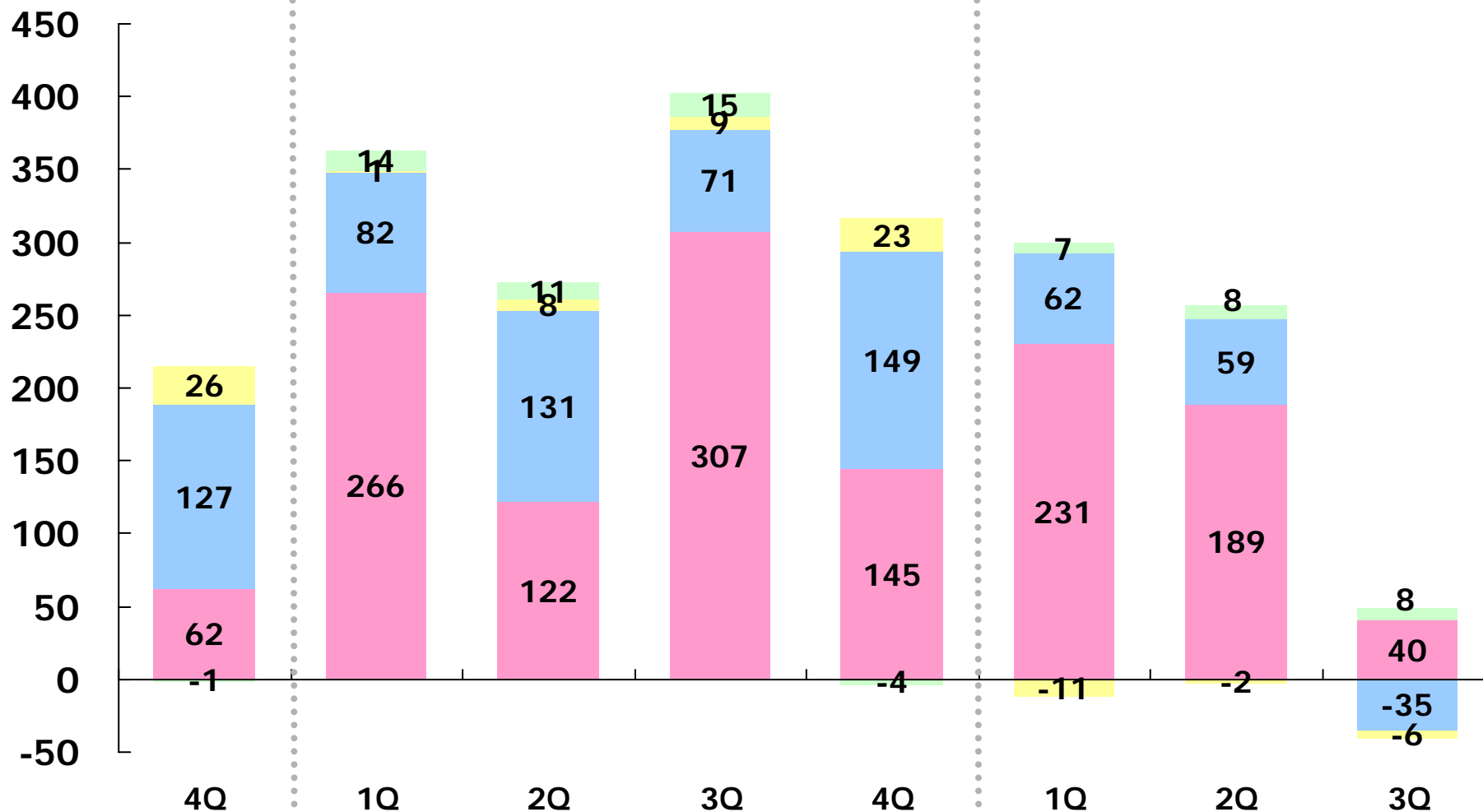
参考データ 四半期セグメント別売上高推移

単位: 億円



参考データ 四半期セグメント別営業利益推移

単位: 億円



2007年3月期

2008年3月期

2009年3月期

映像カンパニー
 精機カンパニー
 インストルメンツカンパニー
 その他



NIKON CORPORATION